

【卒業単位の確認手順について】

(1) 卒業要件を確認する

2023年度履修案内 (<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/gakubu/rishuinf2023.pdf>) のP.5「I 履修案内 1. 卒業単位 1) 各学科における卒業に必要な単位について」から、所属する学科の卒業に必要な単位を確認します。

(2) 成績を取得した科目の単位数を確認する

学内にある自動証明書発行機（経済学研究科棟5階：稼働時間は平日9:00-17:00）から成績証明書を出力します。成績を取得した科目（合格もしくは、可以上の成績のついている科目）を確認します。確認する際は、以下の点に気を付けて下さい。

① 進学年度による科目の区分

「科目区分(専門1,2,3,4,選択)」については、進学年度により異なる科目があるので必ず便覧別表（もしくは履修案内）にて確認します。

2023年度履修案内 (<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/gakubu/rishuinf2023.pdf>) のP.16～P.33から、ご自身の進学した年度の開講予定科目・授業担当者表から、成績を取得した科目がどの科目区分であるか確認します。

② UTASの個人成績参照

UTASの個人成績参照から単位数を確認することもできますが、自動証明書発行機から成績証明書を出力して、確認する方法を推奨しています。

- ・UTAS個人成績参照画面において、経済学部の卒業要件は確認できません。
- ・UTAS個人成績参照の「対象単位数」について、経済学部では成績をGPA算出しておらず、卒業単位を確認する際も参考となる数字ではありません。
- ・UTAS個人成績参照の「修得単位数」は成績を取得した全ての単位の合計数を表します。ただし、UTAS個人成績参照の「修得単位数」が80単位を超えていても、卒業に必要な科目区分の要件を満たしているかは分かりません。卒業要件の総単位数80単位を満たしているが、各専門科目の必要単位数を満たしておらず卒業できない場合があるので、注意してください。（【例えば】経済学科の学生で、総単位数80単位を満たしていても、『専門科目1の20単位と専門科目2の18単位』を満たしていない場合は卒業できません。）

③ 科目確認の補足事項

- ・演習、プロアクティブ・ラーニング・セミナーは、選択科目に算入します（演習、プロアクティブ・ラーニング・セミナーは、取得できる単位数に上限がありますので履修案内P.5を確認してください）。
- ・演習、プロアクティブ・ラーニング・セミナー、卒業論文の履修は任意であり、必修ではありません。
- ・他学部科目（教職課程選択科目を含む）及びグローバル教養科目は、14単位まで卒業単位に算入されます。そのうち、スポーツトレーニング実習は2単位まで算入が認められています。ただし、他学部科目（教職課程選択科目を含む）及びグローバル教養科目は、3月卒業の場合は当該年度のA1・A2またはA2等のA2（Wを含む。）にかかる開講科目、9月卒業の場合は当該年度のS1・S2またはS2等のS2にかかる開講科目の単位は算入されませんので、十分注意してください。